

第5回江南市協働のまちづくり推進協議会 会議要旨

会議名：第5回江南市協働のまちづくり推進協議会

開催日時：令和7年2月4日（火）午後3時30分から午後5時まで

場所：江南市地域交流センター 会議室2

委員：出席委員8名

- 佐藤 正之（学識経験者）
- 小畑 勝士（江南商工会議所）
- 伊藤 光洋（江南市社会福祉協議会）
- 中村 祥（市民活動団体関係者）
- 坂口 悦子（市民活動団体関係者）
- 佐野 宴（市民活動団体関係者）
- 中村 健一（市民活動団体関係者）
- 大池 夏子（市民公募）

事務局：平松 幸夫（企画部長）

矢橋 尚子（企画課長）

吉井 陽一（企画課 政策・協働グループリーダー）

白木 淳也（企画課 政策・協働グループ）

江南市地域交流センター運営等業務受託者出席者2名

資料1 江南市地域交流センターの運営状況について

資料2 江南市地域まちづくり補助事業について

資料3 令和7年度江南市地域まちづくり補助事業採択事業一覧

資料4 江南市SDGs官民共創プラットフォームについて

資料5 江南市SDGsパートナー一覧

議題	(1) 江南市地域交流センターの運営状況について (2) 江南市地域まちづくり補助事業について (3) 江南市SDGs官民共創プラットフォームについて
----	---

会長挨拶

議題

(1) 江南市地域交流センターの運営状況について

○事務局から、地域交流センターの利用状況、実施事業、次年度の取組について説明がありました。

委員	社会福祉協議会が行っている事業と、市や地域交流センターで実施している事業とで、ボランティアに関することでも、福祉に関することでも、重なる部分が結構あつたりします。区・町内会に関することでは、市の福祉部門の政策で生活支援体制整備事業という事業があります。そこで、社会福祉協議会は、区・町内会単位で、生活支援コーディネーターが地域に入っていって、そこで買い物支援や見守り、居場所づくりなど支援していますが、まだ入りきれていない地域やデジタル、ICTに関する分野などがあります。市の中で企画部門と福祉部門が連携して事業を実施することでお互いの強みを発揮し、より波及効果が大きくなると考えます。
会長	福祉関係の事業について、市役所内で情報共有はされているのでしょうか。
事務局	地域ふくし課で実施している重層的支援に関する取り組みなどについてあまり把握できておりません。また、地域交流センターで実施している事業について全庁的には情報共有が出来ていない状況です。ご指摘の通り、事業内容や対象が重複している部分もあると思うため、今後、情報の共有と連携を行っていきたいと思います。
委員	駅前広場の利用について、キッチンカーなど出店していますが、採算は取れているのでしょうか。高架下の店舗の利用者は少ないと感じています。
事務局	駅前広場を利用する団体から、高架下の店舗がオープンしてから利用者が減ったという話は聞いておりません。採算が取れているのかは不明ですが、月に2回程度継続的に利用していることから、ある程度の集客はあると思われます。
委員	区の課題解決に向けて、相談会を実施するという事は良いことだと思います。区の課題について、なかなか把握できていない部分が多いと思うのでこの機会に確認していただきたいです。
委員	市民活動団体の支援の部分で、可能であれば、ボランティアの人材バンクのような仕組みを構築していただきたいです。社会福祉協議会で

	は、ボランティアの人材バンクのような仕組みはあるのでしょうか。
委員	個人で登録するような仕組みはありません。例えば、子ども食堂などの一つの事業に対してサポーターという形で参加できる仕組みを用意しており、オープンチャットを使って情報を流しています。人材バンクのようなマッチングの仕組みはありません。
委員	外部講師を招いての講演会も大切だと思いますが、市民活動団体間のつながりづくりとして、外部へ研修に行って、そこで学んだことを持ち帰ってワークショップを実施することでより強いつながりが生まれると思うため、そういった企画も検討していただきたいです。
委員	駅前広場の利用について、社会実験はいつまで実施するのでしょうか。
事務局	来年度を1つの区切りにしたいと考えています。令和7年度は、運用ルールの一部見直しを行った上で、試行運用を継続する予定です。
会長	市民活動団体の新規登録数について、目標値はあるのでしょうか。
事務局	市民活動団体だけでなく地域コミュニティも含めて、年間5団体の増加を目標としています。市民活動団体の増加数であれば、昨年度に続き今年度も目標値を超えました。
会長	各事業の取り組みがこういった目標値や目的に寄与しているのか分かるように資料に記載していただきたいです。

(2) 江南市地域まちづくり補助金について

○事務局から、令和7年度実施江南市地域まちづくり補助事業の採択結果と次年度の補助事業の募集に向けての方針とスケジュールについて説明がありました。

事務局	応募説明会や相談会の中で、団体の運営費に活用できる補助金はないのか、なぜ活動費に充てることができないのかという団体からの意見がありました。この補助金では、対象とならないことを丁寧に説明したが納得されない方もいました。団体が抱える課題を改めて認識する機会にもなりました。
委員	今回の審査方法は、プレゼン形式ではなかったため、観覧者の方も含めて事業内容を把握することが難しかったと思います。ヒアリングの最初に、事業内容の紹介をするなどしてもらえると、良かったのではないかと思います。また、採点については、審査員やその年度によって審査にバラつきが出る可能性が高いため、事前に審査員間でも審査の方向性になどについての意思統一できる場が必要であると考えます。
委員	申請様式の簡素化が今回の申請数に反映されたのでしょうか。もっと

	多くの申請があってもよいのではないかと思います。申請者からの反応はどうでしょうか。
委員	過去に申請を行ったことがあります。今回の申請は非常にやりやすかったと感じています。記載する項目が減ったことと、審査方法がプレゼン形式ではなく、ヒアリング形式になったことで、申請者にとっては良かったのではないかと思います。
委員	審査会前に、申請資料は審査員に共有されるのでしょうか。
委員	事前に共有されましたが、審査会当日の資料と一部記載が異なる部分があり苦慮しました。
事務局	公開審査会前に、事務局で申請内容の精査を行いました。申請団体から修正が遅れて出てきたものについて、差し替え対応が間に合いませんでした。次年度以降は申請の受付期間を変更するなど、スケジュールの見直しを検討していきます。
委員	事業の審査については、もう少し突っ込んで聞かないと、事業が成り立つのか、団体が継続できるのかなど、いろいろ思うこともありました。この事業はある意味チャレンジ事業で、多少上手くいかなくても、次につながるものだという視点で審査しました。必ず団体がこの事業通りにやって、成果あげなくてはならないものになってしまうと申請のハードルが高くなると思います。そういう意味では、審査基準が、厳密に、厳格にというよりは、そういう市民活動へのチャレンジとして市がバックアップするという気持ちで、事業ができそうかということと、これをやったことによって次のステップにいけそうかという視点で審査していくことも必要ではないかと思います。一方で、市が補助金を出した後もしっかりとフォローしていかなくてはいけないとも思います。
事務局	今回、事前の書類審査を省略したことで、申請者の負担は軽減されたのではないかと思います。審査委員の皆様には、事業内容を事前に把握する機会が少なかったため審査が難しかった面があったのではないかと感じています。また、公開での審査会であるため、観覧者へも事業内容や団体の情報など共有できるように、例えば冒頭、時間を区切って、団体から自己紹介と簡単な事業内容の説明する時間を設ける必要があると考えています。補助金制度については、金額を毎年変えることは難しいですが、例えば、今年度実施した市制70周年コースのように5万円程度のコンパクトなコースを設けるなど引き続き検討していきたいと考えているため、この機会に限らず、ご提案いただきますようお願いします。

会長	一団体当たりの採択回数に限られている中で、皆が申請していくといずれは申請できる団体もなくなっていくと思います。
事務局	現在は新規の登録団体が増加している状況ですが、現行の制度では採択回数に上限があるため、申請できる団体数は徐々に限定されていきます。そのため状況に応じて、制度の見直しを適宜、図ってまいります。
会長	限られた予算の中で、より多くの団体が補助金を活用するため、審査の点数に応じて補助金額を変える、傾斜配分を設けることについても検討していただきたいです。
委員	成果報告について、3月15日のフォーラムで発表する団体のうち市制70周年コースで発表する団体は、2団体のみでしょうか。
事務局	市制70周年コースについては、成果報告の手段を、発表、ワークショップ、掲示で行えることとしており、今回2団体が発表形式を選択しました。その他の団体は、フォーラム当日に併催する、ひと・コトこうなんマルシェでワークショップや掲示方式で成果報告を行います。

(3) 江南市SDGs官民共創プラットフォームについて

○事務局から地域交流センターを拠点に構築を進めている江南市SDGs官民共創プラットフォームについて説明がありました。

事務局	江南市SDGs官民共創プラットフォームを活用した地域課題の解決を進めていくうえで、民間企業がこの事業に協賛していただくために必要なことについてご助言いただきたいです。また、市民活動団体等が民間企業に求めるものについてご教示いただきたいです。
委員	例えば、パートナー登録をして、環境面でSDGsの取り組みを行っている場合に、カーボンニュートラルの補助金が申請しやすくなるなど企業にとってインセンティブがあると、多くの民間企業が登録申請すると思います。
委員	企業が社会貢献的な活動を行ったときに、同業種のことをやったとしても周囲からは企業の利益につながる印象を持たれて、あまり良く思われない傾向があるため、全く違う分野での活動や別業種の団体と連携することで、企業の新たなイメージが確立されると思います。
委員	市民活動団体が、民間企業等に求めることとしては、資金面であると考えます。ポータルサイトを運用していくにあたっては、クラウドファンディングのような仕組みがあると良いと思います。
委員	今後、設置される予定の協議会については、例えば、SDGsというワードを入れるなど市民に分かりやすい名称にしていきたいです。

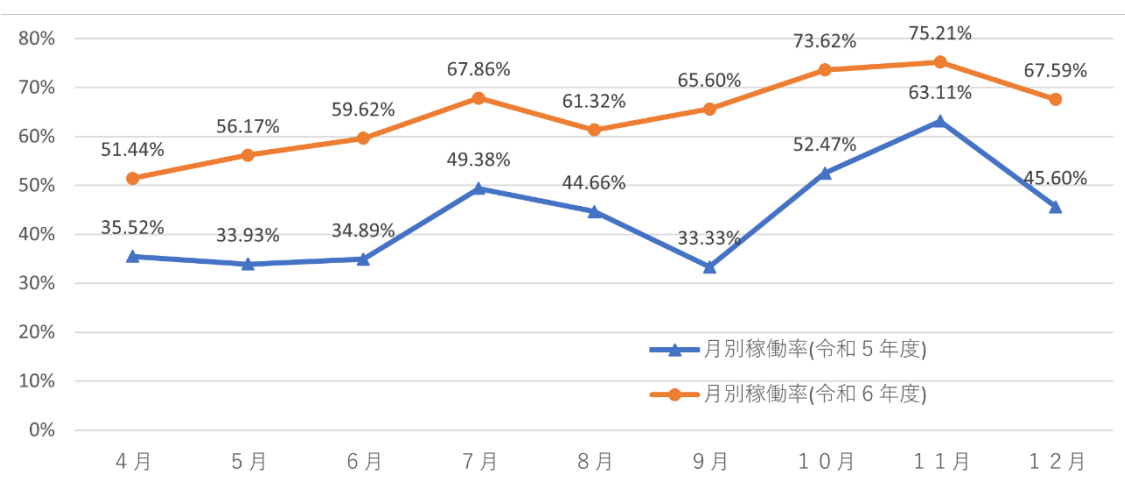
江南市地域交流センターの運営状況について

1. 令和 6 年度の状況

◎ 稼働率

・稼働率の比較（令和 5 年度・令和 6 年度）

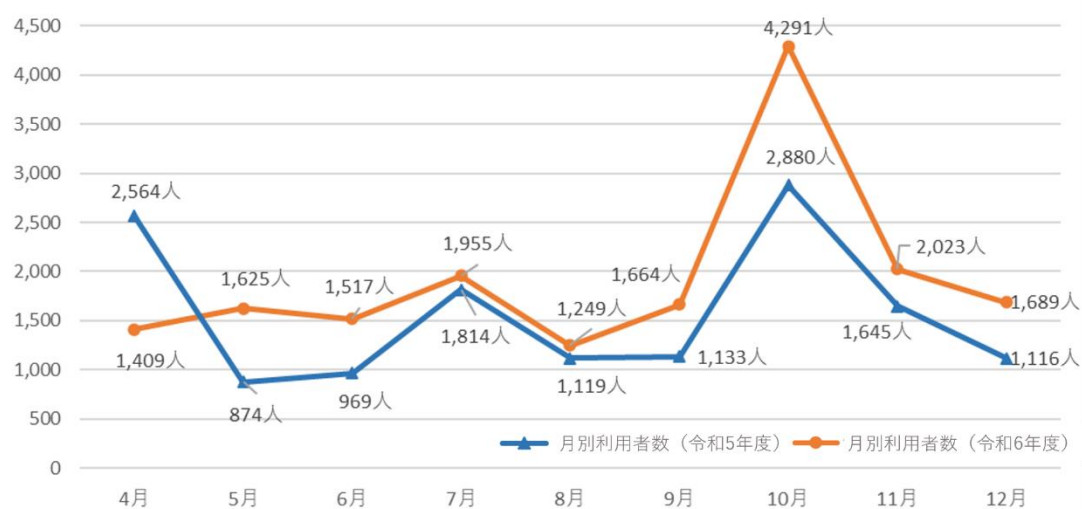
- ・ 令和 5 年度（4 月～12 月）平均稼働率 46.02% ※年間稼働率 46.24%
- ・ 令和 6 年度（4 月～12 月）平均稼働率 64.28%



◎利用者数

・利用者数の比較（令和5年度・令和6年度）

- ・ 令和 5 年度（4 月～12 月）平均利用者数 1,568人 ※年間平均利用者数 1,540人
- ・ 令和 6 年度（4 月～12 月）平均利用者数 1,936人



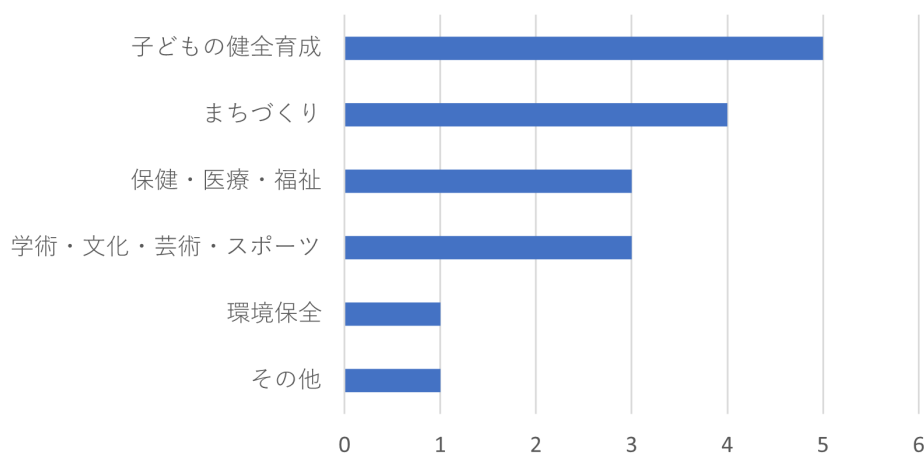
◎令和6年度市民活動団体の新規登録数

(単位：団体)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和6年度	2	1	2	2	0	1	2	4	3	17

※令和5年度年間実績：40団体

市民活動団体の新規登録数 (カテゴリ別)



◎デジタル活用による情報発信の状況

令和6年12月末現在

閲覧数 (回)	SNSフォロワー数			
	X	Instagram	Facebook	LINE
32,021	101	407	35	76

※LINEは令和6年6月から運用開始

(参考 令和6年3月末時点)

閲覧数 (回)	SNS フォロワー数 (人)		
	X	Instagram	Facebook
37,948	67	233	26

2. 主な実績事業・関連事業（令和6年度 10月～3月）

毎週水曜日	【スマホ・パソコン初心者相談会】 (12月末までに35回開催、205名参加)
毎月1回	【複合公共施設内機能連携会議】
年間4回	【情報紙の発行】 ※配布資料
随時	【布袋駅東駅前広場 イベント等利用】
随時	【サイネージ、ホームページ、SNSでの情報発信】
10月1日(火)～ 11月30日(土)	【令和7年度分地域まちづくり補助事業募集】 応募説明会：10月5日(土) 19:30～20:30 10月18日(金) 11:30～12:30 応募説明会：～11月30日(土) 予約制
10月18日(金) 11月15日(金) 12月20日(金) 1月17日(金)	【江南まちづくりLabo57】 高校生・大学生の方を対象に、江南市の魅力などについて、気軽に話し合い、考えるためのワークショップ 第1回目・・・自分を知る、メンバーを知る、江南市を知る(17名) 第2回目・・・江南らしいSDGsについて考える(16名) 第3回目・・・企画について考える(13名) 第4回目・・・プレゼンしてみよう(15名) 3月8日(土) 江南市SDGsシンポジウムにて成果発表を予定
11月16日(土)	【第3回彩色まちづくりゼミナール】 テーマ「やりたいことの一步を踏み出そう」 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 南田あゆみ氏 対象：市民活動・ボランティアに興味のある方 市民活動に携わっている方 (参加者 32名)
11月16日(土)	【第3回ひと・コトこうなんマルシェ】 ※彩色まちづくりゼミナールと併催 ①市民活動団体を紹介する掲示 ②ワークショップ 参加型ライブとして ・アフリカンミュージック ・フラダンス パフォーマンスを開催 (参加者 150名)

1月11日(土)	<p>【令和7年度分まちづくり補助事業公開審査会】</p> <p>令和7年度に江南市地域まちづくり補助金を交付する事業 選考の為の申請団体へのヒアリングによる審査 (6団体)</p>
1月17日(金) ～ 3月16日(日)	<p>【町内会の活動を応援 デジタル活用相談会】</p> <p>・町内会・区にむけてのデジタルを活用した課題解決事業の実施</p> <p>※パソコン、スマホ教室ととらえるのではなく、課題聞き取り事業として位置づけ</p> <p>※町内会単位で相談を受付</p>
3月15日(土)	<p>【令和6年度地域まちづくりフォーラム】</p> <p>・令和6年度まちづくり補助事業成果発表</p> <p>①エコすく(ecology school) <3年目></p> <p>・市制70周年記念地域まちづくり補助事業の成果報告</p> <p>②ふじのはなアマチュア無線クラブ(70周年コース)</p> <p>③布袋区(70周年コース)</p> <p>・地域まちづくりフォーラム</p> <p>講師：大ナゴヤツアーズ実行委員会代表 加藤 幹泰</p> <p>タイトル：「自分の考えるまちづくり 実践事例」</p>
3月15日(土)	<p>【第4回ひと・コトこうなんマルシェ】</p> <p>※令和6年度地域まちづくりフォーラムと併催</p> <p>・市制70周年記念地域まちづくり補助事業の成果報告(掲示及び発表)</p> <p>・市民活動団体の団体活動紹介の掲示、発表</p> <p>・ワークショップの開催</p>

3. 今後の主な実施事業（令和7年度）

【継続事業】

情報発信業務

- ・ 問い合わせ対応
- ・ アンケートによる課題収集業務（各種イベント開催時）
- ・ HPによる各種SNS（X・Instagram・Facebook）での情報発信
- ・ 市民活動団体問い合わせ対応業務
- ・ 市民活動団体相談業務
- ・ NPOボランティアガイドの作成

人材育成事業

- ・ 地域まちづくりフォーラムの開催
- ・ 彩色まちづくりゼミナール（年3回開催）
- ・ 江南まちづくりLabo57（年4回実施）
- ・ 高齢者へのスマホ・パソコン初心者相談会の開催（毎週1回）
- ・ 町内会・区にむけ デジタルを活用した課題解決事業の実施
- ・ 地域まちづくり補助事業申請時の説明会・個別相談事業の開催

交流機会の創出業務

- ・ コミュニティカフェの開催
- ・ 公民連携によるスタンプラリーの実施協力（ラリー実施場所として協力）
- ・ ひと・コトこうなんマルシェの開催（年4回）
（年4回+アルファ（施設内機能連携創出の場の提供）
（特に図書館や保健センター、民間施設との連携）

【新規事業（予定）】

随時	ボランティア依頼や、課題解決のための支援依頼の発信
第1 四半期	町内会・区にむけて デジタルを活用した課題解決事業の本格実施（予約制で柔軟に）
第2 四半期	団体への活動アンケート等による、課題調査
第3 四半期	・ 若者のまちづくりの参画をテーマにした彩色まちづくりゼミナールの開催 ・ 近隣同種運営団体間交流・課題共有 ・ 市内外の市民活動団体同士の交流会の実施
第4 四半期	地域活性化に貢献できる人材育成を目的としたオープンカレッジの実施

4. 駅前広場の利用状況

◎駅前広場の貸出日

令和5年度：金、土、日曜日及び年未年始を除く祝日（週3日）

令和6年度：月、水、金、土、日曜日及び年未年始を除く祝日（週5日）

◎駅前広場の稼働率

令和6年度（4月～12月）稼働率平均：17.53%

	4月	5月	6月	7月	8月
駅前広場利用可能日	21日	22日	22日	22日	22日
駅前広場利用数	3日	3日	3日	4日	6日
駅前広場利用率	14.29%	13.64%	13.64%	18.18%	27.27%

	9月	10月	11月	12月	計
駅前広場利用可能日	22日	21日	22日	20日	194日
駅前広場利用数	3日	2日	5日	4日	34日
駅前広場利用率	13.64%	9.52%	22.73%	20.00%	17.53%

令和5年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
駅前広場利用可能日	14日	14日	13日	15日	12日	15日	14日	13日	13日	13日	13日	15日	164日
駅前広場利用数	8日	1日	4日	3日	3日	4日	8日	3日	2日	3日	2日	2日	43日
駅前広場利用率	57.14%	7.14%	30.77%	20.00%	25.00%	26.67%	57.14%	23.08%	15.38%	23.08%	15.38%	13.33%	26.22%

◎今後の運用方針

駅前広場の利用状況については、引き続き月2回程度にとどまっている。

周知（出店者、来場者ともに）を促進させる策を実行する。

具体的には、

- ①地域交流センターのホームページを刷新し、駅前広場の賑わいについて周知
- ②別事業でSDGsのパートナー企業登録を進めていることから、SDGs企業の参画も意識しながらの周知（企業協力依頼）
- ③そのうえで、SDGsの啓発と企業展示、コラボの可能性を探りつつ、駅前広場の周知を加速させる。
- ④市民活動団体を紹介するセンター事業「ひと・コトこうなんマルシェ」との併催（ひと・コトこうなんマルシェは会議室での開催のため）も検討する。

江南市地域まちづくり補助事業について

1 令和7年度実施事業の採択結果

「江南市地域まちづくり補助金」については、地域交流センターが発足した令和5年度に、新たに40団体が市民活動団体として登録しましたが、令和6年度実施事業の募集では、2団体のみの申請であったことから、より多くの団体が補助金を活用できる機会を設ける必要があるとし、今年度、補助対象期間の見直しや応募説明会の開催、審査及び成果報告方法の簡素化等の変更を行いました。

事業年度	申請数	審査数	採択数
令和6年度	2	1	1
令和7年度	7	6	6

その結果、応募説明会には12名、事前の相談会には10団体の参加があり、最終的には7団体が申請し、6団体が採択されました。（別添1、資料3参照）

2 次年度の補助事業募集に向けての方針の検討

(1) 応募説明会の実施方法について

【参考】応募説明会（任意）：補助制度や申請方法について説明会（計12名）
 日時：10月5日（土）午後7時30分～午後8時30分（7名）
 10月18日（金）午前11時30分～午後0時30分（5名）
 場所：江南市地域交流センター 会議室1

(2) 審査方法について

【参考】公開審査会（必須）：申請書類に基づき、申請者にヒアリング
 日時：令和7年1月11日（土）午後1時30分～午後5時
 場所：江南市地域交流センター 会議室1・2・3

(3) 制度の内容について

3 令和8年度実施 地域まちづくり補助事業の想定スケジュール

令和8年度実施事業のスケジュールは以下を想定しています。

令和7年5月下旬	第6回協働のまちづくり推進協議会で事務局案提示
7月下旬	第7回協働のまちづくり推進協議会で方針決定
8月下旬	申請募集の周知開始
9月中旬	まちづくり補助事業説明会（2回程度）
10月～11月中旬	募集開始（期間：10/1～11/12）
11月下旬	事務局で書類精査
12月中旬	審査員による事業内容の確認
令和8年1月中旬	公開審査会
4月	事業開始

令和7年度 江南市地域まちづくり補助事業 採択事業一覧



江南市は、地域で活動する団体などが工夫を凝らして取り組む、地域がつながり地域を良くしていくこうとする事業に対して補助金を交付しています。

令和7年度実施事業として採択された「地域まちづくり補助事業」を紹介します。

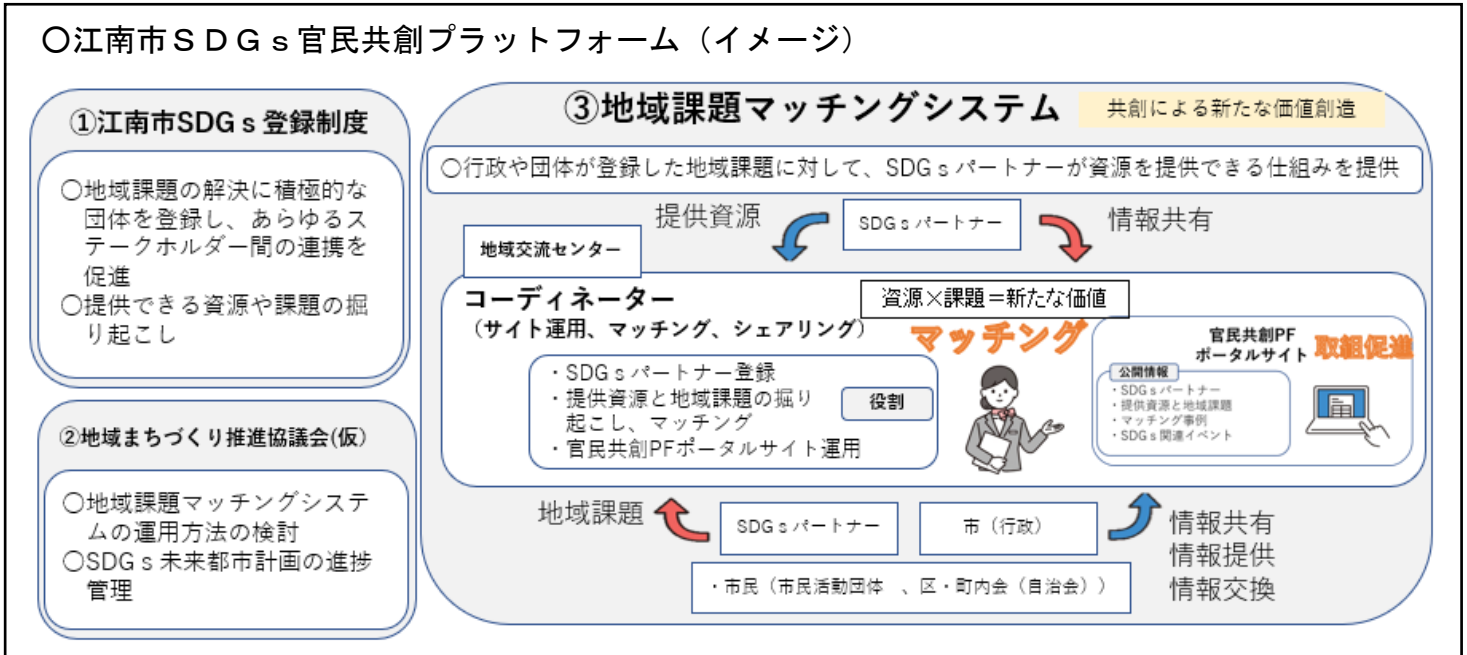
◇ひろげよう！展開コース 6事業

事業名	実施団体	団体からの事業紹介
もちつき大会交流会	安良区連絡協議会	近郊の小学校から譲り受けた餅つき用の杵と臼を利用して、12月に餅つき交流会を実施してきました。100名以上の参加者があり、地域の子ども会とのタイアップもしてきました。今回はそのつきたての餅を利用して山深い雪の多い美濃の里で行っている「花もち」作りに挑戦します。「花もち」の由来や伝統にも触れさせ、コンピュータを利用して「花もち」作りの想いや由来について参加者向けにプレゼンテーションを行いたいと考えています。
ママのためのリラクゼーションタイム	まちづくり木曾川「ママとキッズとパパ」の会	子育てを頑張っているママたちのために、すいとびあ江南にて大浴場や食堂、宿泊施設としての機能を平日の昼間に利用し、子どもを預かり同じ建物内にいるという安心感のもと、気軽に自分のための時間を過ごすことができる事業を定期的で開催します。心も体もリフレッシュして幸せな気分で子育てができることを願っています。
和太鼓演奏の技術者育成事業	高屋和太鼓クラブ	高屋町の伝統行事である高屋夏祭りでの和太鼓演奏に向けて、演奏者である小学生の技術力の向上と指導者の育成を図るため、外部講師を招いて指導を仰ぐとともに、和太鼓を通じて住民との交流機会を創出し、担い手の確保と伝統の継承による地域づくりを目指します。
みんなで祝おう！森のおたんじょうび会	特定非営利活動法人おさんぼや	フラワーパーク江南の新エリア「ふるさと森」で、地域のこどもたちの誕生日をみんなで祝い、同じ地域で子育てをする参加者同士が交流できる「安心安全な居場所」を作っていきます。たくさんの緑にあふれ、街中とは違い大きな木々に囲まれた静かな「ふるさと森」を、世代を超えた地域の憩いの場所として活用します。
地域住民との連携による古知野区の魅力発信及び認知度向上	鼠牢会	江南市の中心地として市内でも古い歴史を持つ古知野区の賑いを創出するためには、より多くの人に古知野区の魅力を知ってもらい、人が集まることが必要です。そのため、古知野区の魅力の一つである最も有名なお祭り「古知野まつり」を地域住民と連携してドローン撮影をし、SNS等により配信します。
子育てサロンはじめの一步 ～心と体・五感で楽しむ子育て～	タッチケアとおしゃべりを楽しむ会「こころはぐ」	心と体、五感で感じる子育てサロン、親（保護者）、子、のタッチケア、絵本、香、色のセラピー等を一緒に楽しめるサロンを、全5回実施します。小人数制で行い、親、（保護者）にアロマハンドマッサージなどのタッチケアを毎回実施します。

江南市SDGs官民共創プラットフォームについて

1 概要

現在、SDGs達成に向けた取組を実施している企業・団体等をSDGsパートナーとして登録する①江南市SDGs登録制度や地域の多様な主体との協働によりまちづくりを進める②地域まちづくり推進協議会（仮）、行政や市民が登録した地域課題に対して、解決策の提案を広く募集する③地域課題マッチングシステムにより、SDGsを通じ、行政・企業・市民等がそれぞれで抱える地域課題をシェアする基盤の構築を進めています。



2 事業の進捗状況

① 江南市SDGs登録制度

- ・第1回募集（令和6年10月10日～11月8日）
結果：21団体が登録（資料5参照）
- ・現在、第2回募集（令和7年1月16日～1月29日）受付分の登録審査中。

②（仮称）地域まちづくり推進協議会

- ・協議会設置に向けて準備中。

③地域課題マッチングシステム

- ・SDGsパートナー間の交流及び地域課題マッチングシステムの説明等を目的とした交流会の実施予定。
- ・SDGsの啓発（出前講座、シンポジウムの開催）※配布チラシ参照
- ・江南市SDGs官民共創プラットフォーム(PF)ポータルサイトの構築を開始。
参考：ポータルサイト画面イメージ（別添2参照）

3 今後の予定

- 令和7年2月23日（日・祝）：SDGs出前講座（講師：市民活動団体）
- 3月8日（土）：江南市SDGsシンポジウム
- 3月中旬：ポータルサイト運用開始

No.	団体・企業名	所在地	業種・分野
1	株式会社林本建設	江南市	土木建設
2	昭和土建株式会社	一宮市	土木建設
3	江南北ファーム	江南市	農林水産
4	NPO団体 0_COLOR	名古屋市	非営利活動団体
5	尾関建設株式会社	江南市	土木建設
6	株式会社倉衛工業	江南市	サービス
7	株式会社林本組	江南市	土木建設
8	東京海上日動火災保険株式会社愛知北支店	名古屋市	金融
9	東邦ガス株式会社一宮事業所	一宮市	エネルギー
10	岐阜信用金庫	岐阜県岐阜市	金融
11	似てる香水.com	名古屋市	その他
12	株式会社船井アソシエイツ	江南市	その他
13	NPO法人東海つばめ学習会	春日井市	非営利法人
14	大和エンタープライズ株式会社	大口町	サービス
15	八橋社会保険労務士事務所	江南市	その他
16	株式会社あいち銀行	名古屋市	金融
17	株式会社ライフドゥ・パートナーズ	江南市	不動産
18	グレイス株式会社	犬山市	サービス
19	有限会社エグチ・ピープロセス	江南市	製造
20	江南中央食品合資会社	江南市	サービス
21	株式会社名古屋銀行江南支店	江南市	金融